

【試合結果】

男子 決勝トーナメント		準決勝																
日時	平成28年12月25日(日)		10:20 ~															
会場	深川総合体育館																	
結果	旭川緑ヶ丘	<table border="0"> <tr><td>13</td><td>—</td><td>12</td></tr> <tr><td>11</td><td>—</td><td>3</td></tr> <tr><td>10</td><td>—</td><td>9</td></tr> <tr><td>10</td><td>—</td><td>16</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	13	—	12	11	—	3	10	—	9	10	—	16		OT		旭川愛宕
13	—	12																
11	—	3																
10	—	9																
10	—	16																
	OT																	
審判	主審 小池 信宏	副審 牧野 兼作																

第31回北海道中学校バスケットボール新人大会



【ボックススコア】

旭川緑ヶ丘		(旭川)地区						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	前野 和敬	×	10		4	2	4	2
5	高島 祥汰	×	2		1		5	1
6	鹿又 允綺	×	9	1	2		2	
7	蠣崎 将	×	10		4	2	4	3
8	山下 歩輝	DNP						
9	松浦 太陽	×	6		3		1	
10	小島 佑馬	DNP						
11	山近 亜門	DNP						
12	相坂 彰人	DNP						
13	齊藤 蒼万	/	7		3	1		
14	及川 隼	DNP						
15	石川 綾信	DNP						
16	茂木 勇哉	DNP						
17	綿谷 怜凷仁	DNP						
18	吉崎 晃生	DNP						
HC	長谷川 猛							
合計			44	1	17	5	16	6

旭川愛宕		(旭川)地区						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	赤坂 尊	×	2		1		1	4
5	佐々木 壮汰	×	7	1	2			4
6	鹿原 拓夢	×	8		4		9	3
7	小谷 純哉	×	8		4		6	3
8	白田 龍司	/						
9	坂本 瑞樹	×	15	4	1	1	3	1
10	長谷川 翔一	DNP						
11	菅野 颯	DNP						
12	佐藤 諒介	DNP						
13	関根 光輝	DNP						
14	萩生田 侑杜	DNP						
15	松山 真之助	DNP						
16	白田 翔悟	DNP						
17	森田 耕陽	DNP						
18	森山 亮	DNP						
HC	堀口 創平							
合計			40	5	12	1	19	15

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし  
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

旭川地区1位の旭川緑ヶ丘中学校と同じく旭川地区の2位である旭川愛宕中学校の対戦となった。

1Q  
 緑ヶ丘スターティングメンバー#4#5#6#7#9、愛宕スターティングメンバー#4#5#6#7#9  
 共にハーフマンツォでスタート、緑ヶ丘は#4#6#9の鋭いドライブから着実に点数を重ねていく。愛宕は#6#7#9でバランスよく点を増やしていく展開となったが、#6が緑ヶ丘のドライブを止めに行きファールを2つとしてしまい交代となる。13-12で緑ヶ丘1点リードで1Q終了。

2Q  
 緑ヶ丘は1Q同様、ドライブからの展開となるが、愛宕もそうはさせじとディフェンスをがんばる。しかし、#7#4#9のドライブを止められず点差が広がっていく。  
 愛宕はポストにボールがおさまらず、外を回し#9のスリーポイントが決まるものくるしい展開となる。24-15の9点差で緑ヶ丘のリードとなり前半を終了する。

3Q  
 開始早々愛宕の連続得点で2点差まで迫る。さらに緑ヶ丘#7がファール3つでベンチに下がる。愛宕ペースになりかけたが、ここで緑ヶ丘#4がドライブでファールを誘いカウント、ワンショットも決め悪い流れを食い止める。しかし緑ヶ丘#13#8のドライブを止められずタイムアウト。その後も緑ヶ丘#4#13のドライブは止まらず34-24の10点差で緑ヶ丘リードで終了。

4Q  
 愛宕#7の高さを生かしたポストプレーで2連続得点、ドライブの合わせからのミドルシュートを#6が決める。緑ヶ丘は、ドライブからの得点で食い下がるも、点差は詰まらず時間が経過する。残り42秒で愛宕の3ポイントシュートが決まり4点差に迫られ、タイムアウトとなる。残り3秒で愛宕のファールにより緑ヶ丘のサイドスローインとなるが、5秒を取られ愛宕ボールへ、しかし最後は#9のスリーポイントが外れ、44-40で緑ヶ丘の勝利となった。